

要請文

2022年 月 日

小学校 校長 様

住所: 西宮市山口町上山口上芦原78-2
生活クラブ生活協同組合都市生活
代表者 小谷里香

子どもたちの食の安全を守るため、ゲノム編集トマト苗の受け取りを希望しないでください

日本政府は2019年より、ゲノム編集技術を使って作られた食品のうち別の生物の遺伝子が挿入されていないものについては、何の規制もなく生産・流通することを認め、開発企業に対しては自主的な「届出」を求めるにとどまっています。2019年10月から届出の受付を開始し、2020年12月、筑波大学発のベンチャー企業サナテックシード(株)の GABA 高蓄積(通常の約5倍)トマト「シシリアンルージュ ハイギヤバ」の届出が政府に受理されました。GABA(γアミノ酪酸)は、血圧抑制効果のあると言われるアミノ酸です。
をゲノム編集技術を使って破壊
には、市民4,000人に苗が無償

要請文見本

このトマトは、別の生物から遺伝子を組み込まないことから従来の品種改良と変わらないとされており、表示義務もありません。しかし、遺伝子の特定の場所を切断するゲノム編集で作出されており、遺伝子を人為的に操作すること自体に疑問がぬぐえません。ゲノム編集食品の安全性については、未だ各国の意見が分かれるところです。食品同様、タネや苗にも表示義務がないため、家庭菜園などで知らない間にゲノム編集されたものを使用する可能性があり、食品流通のすべての過程で遺伝子操作の有無を判別することは難しくなっています。

生活クラブ生協では、多角的かつ長期的なリスクに関する情報が十分に公開されることなく、ゲノム編集食品の経済効果だけを重視した商業化と、それを後押しする行政対応が進められていることに危機感を持っています。

パイオニアエコサイエンス(株)は、ゲノム編集トマト「シシリアンルージュ ハイギヤバ」の苗を2023年に小学校へ配布する計画を発表しています。

ゲノム編集作物を栽培することで、周辺で交雑が進み、環境に影響を与えかねません。また、安全性が確認されていない食品を、未来をつくる子どもたちに食べさせることは、「ゲノム編集食品は安全である」と学校が認めたことになり、とても許されるものではないと考え、生活クラブでは、地域の小学校に対して、ゲノム編集苗の受け取りを希望しないように要請します。

◆要請事項

1. 小学校へのゲノム編集トマト「シシリアンルージュ ハイギヤバ」の苗無償配布に反対し、受け取りを希望しないでください。

以上

回答書

<ゲノム編集トマト苗の受け取りに関するアンケート>

恐れ入りますが、貴校の対応をお聞かせいただければ幸いです。

私たちの要望の趣旨をご理解いただき、ゲノム編集生物の種苗等を、開発・販売企業等から受け取らないでいただけますでしょうか。

学校名：

ご担当部署・ご担当者：

同連絡先：

ゲノム編集苗の受け取りを、

- 希望しない
- 希望する
- その他

(いずれの場合も、その選択の理由やコメントをお聞かせ下さい)

回答書見本

※回答結果は生活クラブ WEB サイトにも公開いたします。

学校名の公開を希望しない場合は、下記にチェックしてください。

- 学校名の公開を希望しない。

回答期限：2022年11月25日

※できるだけ早めにご回答いただければ幸いです。

回答書はファックスにて事務局までお送りください。

生活クラブ生協都市生活 事務局 FAX：078-904-3382